

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	小樽ドローン協会			
事 業 名	小樽ドローン体験会・講習会の開催			
実施期間	7月～12月			
事業の目的及び期待する効果	<p>近年、安価な無人航空機（以下ドローン）が登場し、これまで難しかった空撮を手軽に楽しめる時代となった。一方で、小樽においても祭事における無許可飛行など、一歩間違えれば大事故につながる事案も起きている。</p> <p>そこで本事業では、小樽市民を対象に正しいドローンの理解と普及を目的としてドローン体験会・講習会を行うものとする。</p> <p>ドローンを市民が理解することで、観光の面でドローンの利活用が進み、小樽の魅力発信といった効果が期待される。また、災害時には迅速な現況把握が可能になり、減災効果も期待される。</p>			
実施額	事業費	266,887 円	助成額	236,887 円
事業内容	<p style="text-align: right;">※★印は助成対象事業</p> <p>今年度の事業としては「ドローン体験会」と「ドローン講習会」の2種類のイベントを考えている。</p> <p>ドローン体験会は主としてドローンの普及を目指すもので、ドローンの楽しさを伝えるためのイベントで、大人から子ども(小学生以上)を対象に行うものである。</p> <p>ドローン講習会は主として本格的な技術習得を目指すもので、これからドローンを活用して事業をしたい方や、災害時の運用を考えている方に向けた講習会を行う。</p>			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
7月31日	ドローン講習会①(場所:小樽自然の村)	10人	10人
8月14日	ドローン体験会①(場所:小樽自然の村)	30人	19人
10月24日	ドローン講習会②(場所:小樽自然の村)	10人	4人
12月16日	ドローン体験会②(場所:いなきたコミュニティセンター)	30人	16人

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

①ドローン体験会について

ドローン体験会は子供でも安全な小型ドローンを用いて行った。当団体としては小型のドローンを活用したイベントは初めて行うため、7月14日に事前テストを行った。

機材自体も新製品のため試験飛行したところ、準備や無線の混信・安全面などを踏まえると、1日に2回、10人ずつ程度が今年度のイベントで妥当であると判断したため、30人の予定を20人程度の募集と修正した。

②ドローン講習会について

ドローン講習会については、札幌等で他団体の開催の手伝いをしていたため、現地取材のみで試験飛行は行わずに開催した。

1回目は10人募集に対して満席を達成したが、2回目は4人と少な目の参加者であった。募集にあたっては事業者のために平日に設定していたが、札幌の事業者とは違い、小樽の事業者は勤務中に参加が難しい人が多く、土日の開催要望があった。

③目的の達成度について

企画内容の変更の変更もあったが後述する参加者の反応を見ると、参加者にはおおむね好評だった。また、参加者の技術・知識の理解度は確実に高まったと思われるため、当初目標の8割程度の達成度と自己評価している。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

①ドローン体験会について

基本的には親子連れ、あるいは大人のみ参加ということで、おおむね大人と子供は半数ずつの参加者であった。子供はすぐに操作になれ、自由に飛行を楽しんだ。機体はおもちゃであるが、大人であっても充分楽しめるものであるため、途中退席者はおらず時間まで飛行を楽しんでいた。感想としては、「楽しかった」「またやりたい」などの声もあり、大人子供関係なく楽しめるイベントであることが実証された。

②ドローン講習会について

ドローン講習会は、業務レベルで活用を目指す人のための講習会である。札幌では有償で行っているカリキュラムであるため、参加者の満足度は高かったと思われる。参加した動機をヒアリングしたところ、ドローンの事業化を考えている人が多かった。業務にあたっての注意点などを具体的に伝えられたことから、事業化の参考になったと思われる。また後志振興局の人も、観光事業などにドローンを取り入れる検討を行うために参加していた。

3. 今後の事業について

今後のドローン体験会の持続性の観点から助成金をもらえない場合も考慮して、ドローン講習会有償化し、収益を原資にしていく方向にシフトしていく必要があると考えている。

ドローン講習会は本来有償で行っているようなレベルの内容であることから、有償化したとしても一定の需要はあるのではないかと予測している。

一般・子供向けのドローン体験会は無償で行いたいことから、助成金とドローン講習会の収益を利用して、今年度よりも開催数を増やしたいと考えている。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等